



全日本私塾教育ネットワーク

私塾ネット広報

<http://www.shijuku.net>



やまぶきや 曲がり来たれば 山一つ

私塾ネット 副理事長 梶原 賢治

全日本私塾教育ネットワーク

センター事務局 仲野 十和田
〒173-0005 東京都板橋区仲宿53-10 ナカジユク内
TEL 03-3963-5572 FAX 03-3963-2529
Mail Address: jimukyoku@shijuku.net

理事長 谷村 志厚
047-368-2729
広報部長 監物 一男
048-688-6903

「営みを経て人を幸せにする それが教育」

～ 1 + 1 が 2 以上になる人組と教育～



講演者

株式会社Inter-Vision Consortium
取締役会長 小林恵智様
株式会社Inter-Vision Consortium
代表取締役 古野俊幸様

自己紹介

私は寺の生まれで、8歳から18歳まで坊主をやっていた。家においてもらえなかったので知り合いの禅寺で雲水修行、座禅を朝昼晩。修行を見逃してもらって学校には行かせてもらったが、ノートも教科書もなく、すべて頭の中に入れるしかなかったので、板書は12歳の6月14日の国語の授業さえ覚えていた。

高校2年生の時にはIQ167を超えていた。出現率は0.001%。体力・知力が高かったが、これは遺伝子とは関係なく禅寺で脳の使い方を覚えさせられたからである。1700もの公案、例えば「片手の音を聞け」、は先入観を捨て、考えることをしない修行になった。

寺で行く事の出来る大学が決められていたので、このままでは坊主になってしまうと思い168年11月19日、家出をしてキリスト教大学に入った。行った途端にいろんな野獣に出会った。私の友達は塾をやっているものも多い。「しょうがないからやるしかない」そんな「でもしか」時代を歩いてきた。

経営とは

経営学では「経営」の定義はしていない。「経営」とは仏教用語である。経営の対象者は、講師であったり子どもたちであったり、そしてその子どもを支える家庭を皆さんが経営をしていくわけである。

どういう風に経営していくのか。家庭と己の間に経営が存在する。つまり家庭の中に自分も子どもも含まれている。そして学校・企業・部門・地域・塾の中に自分がある。自分で自分を経営する力、つまり自立、自活する、自分を励ましながら勉強する力を教えるという事が重要である。教科書に書いてあることを読んで教えることは必要ない。家庭でも企業でもみんな底辺は人間である。一人ひとりが自分で成長していこうという意識や意欲を持った時に立派な世の中になるのではないだろうか。

経営の主体は主人公という禅語を使う。従属した「教えてもらう」ではなく自分で学び取るという意欲をどう創るかが大事である。塾長の仕事は、塾生や塾の先生達に「自分で伸びよう」という気持ちを創ることである。塾の先生達は塾生に「学びたい」という意欲を引き出す。自分達が掲げた高い理想、例えばどんなに遅れている子どもにも平均点を、平均的な子どもはトップへ、など明確な塾の姿勢を打ち出して、そのとおりに経営していけば、おのずと塾生の数は増えていく。そのためには、いい先生が必要であるが、いい先生を雇うためにはいい塾長がいなければ話にならない。塾長は自分で決めた高い目的を達成する。その姿を見て塾講師が育ち、塾講師の熱意を見て子ども達は育っていくのである。

経営とは何か。経営とは英語には無い概念で性悪説である。西洋の考え方にはない概念である。他の言葉で言い換えると、「予め設定された目的・目標を日々の営みを経て達成させること」である。これは教育である。経営という言葉が難しければ、教育から考えれば良い。教育とは知育・徳育・体育である。

個性とは

教授法を考えたときに、誰でも同じように教えるのが問題である。日本人の68%は重畳型学習法といって今日と同じように明日もあるという農耕民族遺伝子で順序だてて教えていくのに向いている頭になっている。あとの32%は遊牧民族遺伝子で、昨日と今日と明日に関係性がない。人と違うことをすることが正しいと身にしみて遺伝子に活着している。この人種は特殊な状態で生き残ることができる。こういう人材を社会は求めているのに学校は相変わらず過去が要求しているものをつくろうとしている。

しかし、個別的特性は伸ばすべきである。我々は1+1は2以上のことをやろうとしている。1人の先生と1人の先生で2人あわせて3人以上の仕事

その為にはどうしたらいいのか。農耕民族型の生徒には農耕民族型の先生、遊牧民族型の生徒には遊牧民族型の先生が教えれば良い。

FFS理論とは

そして、個性の構造を明らかにしたものがFFS理論である。凝縮性・受容性・弁別性・拡散性・保全性と5つの思考行動パターンがあり、ストレス分析する。この5つの原因子は身近な例だと水で考えることができる。私たちは約60兆の細胞でできている。それは物質で人の場合70%は水である。伝熱性があるためすべてがストレスの影響を受けるのである。

ストレスはいい状態と悪い状態でかかる。ストレスマネジメントするには相手の行動様式がわかっていないと的確でない。ポジティブな特性も、その人の強みを活かさないストレスがかかっているとネガティブな特性に変わってしまう。

- ・ 指導的な人、凝縮性が高い人は規範的モラリストである。しかし、先入観をもっているのでその人のもっている道徳観をけなしたり潰したりするとその人は独善的になる。
- ・ 受容性が高い人は肯定的でポジティブである。面倒見がよいが、対象がいなくなると介入的になる。
- ・ 弁別性の高い人は論理的に物事を分析するが、やっていることを否定されると今度は機械的にこなしていく行動をとる。
- ・ 拡散性の高い人は好きなことはぐんぐん伸びるが人と同じことが苦手で、創造的で積極的だが、そのことによって押しつぶされてしまうと衝動的になる。

保全性の高い人は単純記憶、再生が得意である。
みんながやるからやるという風に極論から極論へ振られやすい。

FFS理論を教育に応用する

先生と生徒が一緒のタイプ同士はお互い合うが、先生と生徒が違うタイプ同士は合わない為ストレスになる。

この特性は生まれたときから変わらないのか。生まれた時は気質の部分、保全性（内向性）と拡散性（外向性）しかない。だんだん弁別性、受容性、凝縮性と年齢とともにソフトウェアが拡大していく。年寄りの特徴は思いこみが激しくなり、感情的、元気がなくなる、だらしくなることである。これをくい止めるにはストレスマネジメントしかない。

似たもの同士は集まりやすいが、お互いが自然に生活できるのは個性の違う組み合わせである。クラス別にする場合違う者が集まる方が学習効果は上がる。助け合い精神が生まれるのである。似ている者

同士は欲しくなるものが一緒にぶつかりやすい。似ていない個性はもめることがない。「満足ではないが不満ではない」という状態が最高である。

経営者の仕事

経営者は加えすぎず加えなさすぎず、ちょうどよいストレスをぶつけることが仕事である。人によって人間関係や仕事の忙しさなどストレスは違う。しかし、したいことができないことに問題があるのであって例えば仕事が忙しくてもやりたい事ができていれば問題はない。一番のストレスは不安である。この不安をどう取り除くかが大事である。そして、ちょうどいいストレス（パワーストレス）の時パワーを発揮することができる。

塾長なり親、クラスの経営者、つまり子どもの経営者の一人がその子どもの目的・目標を達成させようとするならば、まずその子どもの個性を日頃の活動、態度、勉強法の仕方を見て見抜き、タイプを出来る限り相性の良い講師に変更し、その個性に合った指導、動機付けをしていけばよい。

また、親が子どもの考え方を理解してもらい、個性を両親に伝え、家庭で学習をサポートしてもらう家庭へのフィードバックも大切である。



研修会に先立ち挨拶をする谷村理事長



研修会場をギッシリとうめた参加者の先生方

元 気 塾 ノウハウ公開

おしゃれな学習環境を演出し生徒の心もキャッチ 徳島県/文化の森スクール 代表 近藤誠介



去年、鳴門で全国学習塾協会主催の記念式典・研修会を開催させていただいたとき、たくさんの先生方が見学に来られてご案内した折、内装・インテリアが印象的だったかと思ひ、今回はその話をしたいと思ひ

ます。私は塾を20年やっていますが、それ以前は家業が繊維関係の仕事だったので、ブテックをやっていました。その時に店の内装を10何店舗かやりましたので、おしゃれな感じということで、今日は少し派手な服装で来ました。

代ゼミサテライン予備校を徳島駅前に出すにあたって、4年前から代ゼミサテラインをやっていましたので、生徒にアンケートをとったところ、色々要望が出ました。面談室が欲しい。休憩室が欲しい等など。空き室に長時間居ても疲れないう、居心地の良い環境を作ろうかなと思ひました。

(これ以後実際に写真を見ながら、説明) 駅前にたくさんの塾があり、後発組なのでよそと差別化したい。そこでまず、高校生、特に3年生をターゲットにしました。1階正面入り口は、大理石作りでカフェ風の雰囲気作りをしました。生徒の休憩室は、ハイチェアでカウンターになっている。自習室はシンプルにしている。マイボックスには、各自の参考書などを入れておく。サービス業なのでトイレはきれいに！女子用は、スペースを広くして、ウォシュレットを付けている。ライトはフランクロイドライトさんの設計したライトをメインの装飾として使用。これだけで300万円します。又、入り口の所はマフォガニー系の落ち着いた濃茶色の壁で統一している。面談室もあります。

高校生はおしゃれである。徳島市内に6校の高校があるが、詰襟の学生服は2校のみで、他はブレザーなどを着用している。又、高校も新しい校舎になると人気がある。そういったニーズにも応えていかねばならないと思う。レストランに例えると、評価対象は料理・サービス・環境の3つが条件になる。料理が美味しい、サービスが良いだけではだめで、内装や環境などこのすべてを満足させて三ツ星レストランになれる。

塾の場合も、生徒の進路指導、生徒管理のサービ

スと内装・環境も満足させることが必要である。雰囲気作りとして、教室の高さとか、自塾では、音楽を流して、環境音楽(クラシック)も含めて、インテリアの一部かなと思っております。

(文責 監物)

「1人：30人の個別指導で県内トップ校へ！」

青森県/志学塾 塾長 畑山 篤



八戸市は人口24万人、中学校が25校、中3生が約3千名の商圈です。青森県の国立大学は弘前大学1つで八戸からは特急列車で2時間の距離です。高校は東北大学に今春64名の現役合格をさせた八戸高校を筆頭に八戸東・西・南・北と普通高校が合計5校あります。私はこのような地域に平成元年、27歳の時に開業しました。

以来10年で志学塾は8教室年商1億円まで順調に成長しました。当時は塾生1人あたり年25万で400人の売上規模でした。しかし、この頃から8人の教室長のうち5名が円満ではありますが順次独立開業しましたので、8カ所あった教室を毎年毎年統廃合し今日の3教室になりました。

今年19年目に突入する志学塾は教室の広さが25坪から30坪程度で塾生1人あたり年30万で200人の売上規模です。やはり高校受験ニーズが大きな柱で中3生が40%を占めます。

いつの頃からか八戸市でも教室に20名の中学生が集まれば10校以上の中学校から通って来る状況になってきました。時代は習熟度別のクラス分けでの「一斉授業」から「個別指導」に流れ、我々もその流れに随って「指導法」を研究してきました。7年ほど前から「一斉個別方式」を実践し現在に至っています。「躰と褒美」というコンセプトで「1人：30人」の個別指導を可能にしました。教材はどのメーカーのものでも構いません。小、中、高校、大学受験生...どのようなニーズにでも対応できます。同じ教室に別々の教科を学ぶ生徒がいても構いません。当然全ての習熟度別に対応できます。必要なのは「4色ボールペン」と「塾ノート」、そして3種類の「判子」だけ。

イメージは病院ですね。黒板に向かって生徒は体温を測り検尿を済ませ教室後方に座る講師の机に診察を待つ時のように並ぶのです。病院のイメージと言ってもカルテ等という面倒なものはありません。一人ひとりが持っているテキストに講師なら誰が見ても分かるように進度と達成度が記録される仕組みです。授業が始まると60人の生徒が一斉に自分のやるべきところから学習し始めます。教室の後ろには2人の講師がいて、一人ひとりの学習を指導していきます。1時間あたり4～7回各々の生徒を直接ノート指導しますので毎時間色々な声掛けが可能で

す。

昨年から教室見学に訪れる方が増えてきました。早速自塾に導入された塾長先生もいらっしゃいまして、こんなに喜んで頂けるのなら、広くご利用頂こうと「OK!書き込み学習法」とネーミングしてみました。全国的に珍しい指導法だとよく言われますが、実は欠点もあります。それは講師に、教育現場としてはあまりにも当然ではありませんが、「熱い!人間関係力」が求められるという点です。

塾の使命が「人財」の輩出であるなら、それをなすために「人財」たる講師スタッフを求めなければならぬと私は試行錯誤の毎日を送っています。このところが大変大きな壁ですね。これからも東北の地方都市で学習塾を営むために「小規模多機能教室」というキーワードを掲げ勉強していく所存です。どうか皆様のご指導をお願い申し上げます。

志学塾は元気です!

私とパロス



千葉県/しのめ研成義塾 浅輪 信子

開塾したのは今から20年前。当時は、千葉市稲毛にあった自宅の六畳間が教室だった。その後、市原市に転居。これを機に、自宅とは別に京成電鉄「ちはら台」駅前のアパートに一室を借り、教室を構えた。毎年、生徒が増えるごとに部屋を借り増し、5部屋までになったときに、現地の市原市ちはら台に塾舎を建設し、移転した。

ちはら台は、千葉市に隣接する緑豊かなニュータウン。新しい住宅街が整備され、人口が増え続けている。学習塾にとっては絶好の立地条件であるため、新たに進出してくる学習塾も多く、競合地域となっている。

そんな中で、しのめ研成義塾は順調に生徒数を伸ばしてきた。塾舎も本館が手狭になったため、道路を隔てた向かいに新館を開設したほどであった。

少人数制の授業で子どもたちの成績は伸びていたし、保護者の信頼も得ている。本館・新館ともに教室はブルーの床に白い壁で統一し、いつも明るくきれいな状態を心がけた。子どもたちが自由に利用できるようにと自習室も完備。勉強だけでなく、しつけ教育にも力を入れた。10数人のスタッフとは毎日ミーティングを行い、問題点や指導方法について語り合った。

「子どものことを第一に考えて熱心に取り組んでいれば、経営を特に意識しなくてもお金は後からついてくる」。そう信じていた。実際に、開塾以来、一度も生徒を減らしたことがなかった。

しかし昨年1月、状況は一変する。県内有数の大手進学塾など続々と塾がオープンしてきた。開塾以来か」と思い悩む日が続く。ちょうど同じ頃、全国

学習塾協同組合から「パロス個別指導システム」立ち上げの知らせが入る。

これだ!と思い、パロスに懸けようと、モデルスクールになることを決意した。

それから毎週、全国学習塾協同組合の森貞孝理事長や他のモデルスクールの塾長らと会合を重ね、パロス個別指導システムを形作っていった。よりよいシステムにするために、各塾は生徒数や売り上げ、チラシの内容と配布枚数、反応、定期テスト対策などのノウハウまで、すべてをオープンにした。

生徒には塾を選ぶ権利がある。ならば、魅力ある塾を作り上げ、その塾を必要とする子どもたちに来てもらおう。そう考え、自由になる時間のすべてと情熱をパロスに注ぎ込んだ。

5月から毎年、チラシを2万枚ずつ配布した。1回目から反応があり、チラシを配布するたびに生徒が増えていった。

「パロスのよさは、FCと違って自分のカラーが出せること」。パロスは、中小塾のベテラン塾長が自分の塾をこれからどうしていけばいいのか、という観点に立って作り上げたシステムだからだ。

「自ら学ぶ習慣をつけさせる」とか「家庭との連結を密にする」など、基本的な方針は統一されているが、細部は各塾に任されている。ただし、塾長は研修会に必ず出席し、自塾の情報を明らかにしなければならない。

「皆でノウハウを持ち寄り、討論を重ね、ひとつひとつテーマをクリアしていった」。

例えば、電話の対応の仕方や家庭との連絡フォーマットなども改善された。チラシの内容や教材、組織のあり方についても各委員会で検討が続いている。

パロスは、いわば常に前進するプロ集団。従来にない新しい教育共同体ともいえる。パロス導入によって塾全体が大きく変わった。何よりもパロス成功させたいという思いでスタッフが一つにまとまり、全体のモチベーションが高まった。

5月からスタートして10ヶ月ほどで、一斉授業コースも含めて100名近くの生徒が入塾し、生徒数は過去最高を記録。しのめ研成義塾は再び活気を取り戻した。

今年1月には「ちはら台」駅前にあるビルの1階に、個別指導専門の「パロス指導学院」を開設した。

しのめ研成義塾の目覚ましい成功は多くの学習塾の注目を集め、見学に訪れる人も多い。



教育改革と教育再生会議の行方

谷村志

文部省の塾容認

「文部省が学習塾を容認」の報道がなされたのは平成何年だったでしょうか？新学習指導要領が実施され学校完全5日制に移行したのはいつだったでしょうか？この2点はこの10年の中でも、塾にとって最大の教育行政の転換点だったのですが、あまり記憶に残っていないものです。

平成11年6月、生涯学習審議会の答申第3章「今、緊急に取組が求められること」のなかで、学習塾の存在を始めてふれ、「過度の学習塾通いをなくし子どもたちの「生きる力」をはぐくむこと」と指摘しながら、学習塾の存在を認知することとなりました。6月2日の各紙朝刊は「文部省が塾と共存へ、定期的に意見交換」（朝日新聞）等と大々的に報道しました。一方塾業界は「過度の学習塾通いをなくし…」の文言に敏感に反応し、当時私塾ネットの旧団体が主たる構成メンバーであった任意団体連絡会を拡大開催し、業界をまとめて文部省の問題提起に対応することになりました。これを期に任意団体連絡会は全日本学習塾連絡会（現…連絡会議）と名を変え文部省との対応の窓口となります。

時をおかず6月23日には第1回目の文部省担当者と塾関係者の会合が開かれ、その後同年3回におよぶ意見交換の場が継続しました。さらに同年10月、浜名湖で開催された塾団連第25回研修会*には当時文部省の生涯学習振興課の樋口課長が3時間にも及び講演とパネルディスカッションに出席されました。（*塾団連研修会とは当会の旧団体のうち全塾連、PTFと関西私塾連盟が組織した友好団体の研修会）文部省のキャリア官僚が塾主催の研修会に出席し発言する、それ自体、塾業界と文部省とのこれまでの関係からみれば、特筆すべき事件でした。この間、全日本学習塾連絡会の事務局として一切を取り仕切られたのが、現私塾ネットの広報部長の佐藤先生でした、先生の存在と功績がまことに大きかったことを加筆させていただきます。

新学習指導要領と学校5日制

一方新学習指導要領（小中学校）の実施は平成14年でした。同時に学校週5日制に移行するのですが、これに先立つ10年には新学習指導要領が告示されていました。先にふれた文部省と塾との関係は、この学校5日制と新学習指導要領がその背景にあったのでわけです。

ゆとり教育を背景とする新指導要領では、総合的な授業が加わる一方で授業内容の精選という名の「削減」が行われました。平成10年の公示段階とそれに続く移行期間に、学力低下論争が始まりました。時期を同じくして公表された、国際教育到達度比較（I A E）と学習到達調査（P I S A）の結果がこの論争に火をつけることとなりました。14年1

月には当時の遠山文科大臣みずから「学びのすすめ」と称するアピールを公表し、4月からの新学習指導要領の実施に予防線をはりました。しかしながら、世論あげての「学力低下批判」に翌15年には前例のない指導要領の一部改訂を敢行し、学習指導要領は「ミニマムスタンダード」と定義する事態となったわけです。

教育再生会議と第一次報告

「教育改革」の一語は、平成9年の「教育改革プログラム策定」以降10年にわたり、一貫して唱えられてきた教育行政の核となるものです。この間、新学習指導要領、学校5日制、学力低下論争と紆余曲折がありましたが、この混迷気味の教育改革に意欲を示したのは新生安倍内閣でした。仲曾根内閣時に「臨時教育審議会」、小淵・森内閣時には「教育改革国民会議」と内閣直轄の教育諮問機関が設けられました。安倍内閣はこれにならって、教育改革（再生）への取組みを強化するため組閣早々の10月「教育再生会議」を設置しました。安倍内閣発足当時、新政府への期待は大きいものがありましたが、月日の経過と共に支持率も低下し期待感も弱まったかにみえます。ここで1月24日に取りまとめられた再生会議第一次報告の内容を、改めて整理しておき

社会総がかりで教育再生を～公教育再生への第一歩～ 7つの提言（初等中等教育を中心に）

教育内容の改革

- ・「ゆとり教育」を見直し、学力を向上する
- ・学校を再生し、安心して学べる規律ある教室にする
- ・すべての子供に規範を教え、社会人としての基本を徹底する

教員の質の向上

- ・あらゆる手だてを総動員し、魅力的で尊敬できる先生を育てる

教育システムの改革

- ・保護者や地域の信頼に真に応える学校にする
- ・教育委員会の在り方そのものを抜本的に問い直す

「社会総がかり」での全国的な参画

- ・「社会総がかり」で子供の教育に当たる

4つの緊急対応

- ・いじめ問題対応 教員免許更新制
- ・教育委員会制度の抜本改革 学校教育法の改正

ましよう。

3月も以前の報告内容ですのでもいささか色あせた感もぬぐえませんが、提言ではや 項の突っ込んだ内容を評価するむきもあるようです。だが実際面では文科大臣の諮問機関である中教審との力関係や、塾不要発言で擧げの座長以下、会議委員の力量への懸念など、スムーズにことが運ばないのが現状のようです。5月の2次報告の内容とともに、興味深く見守ってまいりましよう。

欧州紀行 私塾ネット 広報担当顧問 平林 治

とんでもない事が起こった。2月7日の広報18号の編集会議で、台割を検討中に何かの拍子に、私が3月にドイツ・スイス・フランスに旅行をするという話をしてしまった。

その時は丁度特別寄稿を誰に頼もうかということの検討中だったので、そのまま私の紀行文を載せようという事が決まってしまった。しかたがないのでページ数が限られているので1・2ヶ所の紀行文書くことにした。

8月30日よいよ飛行機は離陸したが、飛行機が怖いので持って行ったウイスキーをちびちびの飲み始めた。持って行った百ミリリットルのびんは全て空になって気が付いたらフランクフルトに着いていた。ふらふらしながら入国審査を受け、外に出てバスに乗りホテルに向かいバタンキュー。

朝早く目が覚めた。今日はいよいよドイツの観光、天気は快晴。今日は期待していたライン川クルーズとハイデルベルク観光だ。

ライン川をクルーズしてみても驚いたことは多くの国籍の船が行き来している。さすが数国を流れている川だと思った。

ハイデルベルクは大学の発祥地だ。さすが教育の町だと思ったのはこの国の教育制度だ。ドイツのバーテンぶる区州では、6歳で入学し1年生から4年生まで進むとそこで大学に進むかその他のコースを選択しなければならない。大学に進学するにはそれから9年間も学校にいかなければならないし、その他のコースを選択した生徒は6年間だけ学校に行けばいいのだそうだ。ここではでは10歳での進路決定は早すぎると思われるでいて改革をしているということだ。

そんな思いでホッケンハイムという町に到着した。ここの立地はとても閑静な田舎町という佇まいだ。今日の疲れはここで癒されそうに思った。

翌日はまたまた快晴で気持ちがとても良かった。今日はローテンブルク観光だ。そこではマルクト広場や市庁舎、聖ヤコブ教会を徒歩で観光した。あまり興味がなかった。というよりは今日の夕食が気になったからだ。夕食については後で書くとして、その後バスでロマンチック街道を220キロも走り長距離といってもさすがドイツ、アウトバーンに入るとバスはスピードをだすはだすは。あたりの景色は急な斜面にブドウ畑が続くととても気持ちの良い景色が続いていたので思ったより早くミュンヘンに到着した。

到着したのはビール工場直営のレストランの前だった。ようやく期待していた夕食の時間だ。テーブルに着くと客席は満席。向こうから1リットルのビールの入ったジョッキを10個も持ったウエーターがやって着た。ひれの後からは美味しそうなソーセージの盛り付けてあるお皿を持ったウエイト

レスがやって着た。両方がテーブルに置かてすぐに、皆で乾杯をして直に飲み始めた。長旅と空気が乾燥してしたことで喉がカラカラだったので一気に飲み干し、全部が飲めない女房のビールに手を出してそれも飲み干した。ソーセージが旨かったこと。

次の日は待ちに待ったノイシュバンシュタイン城の観光だ。ここも今回の旅行の目的の一つだった。今日も天気は快晴。青い雲一つない空のもとで城は輝いてみえた。18世紀にルードヴッヒ2世によって建築されたとは思われないような建造物で内部の装飾は豪華絢爛。一番驚いたことは、厨房設備で、お湯と水が出る水道設備やオープンや調理用具は現在でも使えるような物ばかりだった。

**青空の下に白く輝くノイシュバンシュタイン城**

お城を見学後バスはスイスのインターラーケンに向かった。

ドイツからスイスの国境を通過する時、パスポートの提示を求められるかと思ったが税関の申告が必要な人だけがバスを降りて行ったがそこでも提示を求められなかったらしい。

なぜそう思ったかということ、スイスはEUには加盟していない(永世中立国なので)からだ。バスはインターラーケンに向かってアウトバーンをひた走りに走った。

ここまで書いてきて、ドイツは日本より国土が狭いが、郊外に出ると日本の田舎よりゆったりしていて大地は緩やかにカーブを描いた丘陵地が多く、ともかくものんびりしてて羨ましく思った。またあらゆるところでドイツの国民性(あらゆるところで几帳面で論理的なところ)を感じ、私たち日本人も似ているが一味違う何かがあると思った。

そしてこの後私がこの旅行で一番楽しみにしていたユングフラウヨッホに登山電車で登ったり、パリのルーブル美術館に行ったり、ヴェルサイユ宮殿に行ったりしてとてもたのしかったが、ともかくEUという組織はその国境を通過したり、同じ通貨が使えたりしてとても便利だと思った。これからもEUはますます拡大していくだろう。

代表者会議・全国研修大会 & 懇親会 グラフイティ In 品川プリンスホテル 2007年4月22日



研修会に先立ちネットセンターの代表者会議が開催された、議長を務める谷村理事長と司会の仲野事務局長。



エリア四国の代議員。右より湯口、近藤、十亀の三氏。



右端より畑山、関氏(青森)関東の加藤氏をはさんで入江氏(札幌)と梶原副理事長。

研修会「元気塾ノウハウ公開」でパロス個別指導システムについて語る浅輪先生(エリア関東)。



「元気塾ノウハウ公開」のエリア東北代表は八戸の畑山先生。

「元気塾ノウハウ公開」で徳島駅前の新塾舎のコンセプトを紹介。私塾ネット1のダンディー近藤先生。グリーンジャケットが決まっています。





主賓のご挨拶は東京都私立中高協会
副会長の美吉幹夫先生(東京女子学園)



業界代表挨拶は(社)全国学習塾協
会



トップオブ品川の2次会会場でスタッフ慰
労のため乾杯の首頭をとる入江エリア北



四国から上陸を果たしたエリア四国の軍団。湯口大将を中心に吼える寺嶋先生(学習院セミナー)
右から福富、近藤、湯口、田村、寺嶋、川口、十亀、小野先生。軍団の結束は固い。



遠来の仲間を囲んで。左より安藤、湯口、菅谷、近藤、谷村、浅輪



9 鈴木関東代表と宇都宮の菅谷さん。お二人が同級生とは意



私塾ネット関東代表 鈴木正之



私塾ネット関東の会員は毎年増加し、現在名誉会員を含めると会員数は70～80塾となっていますが、会員になられた先生方が、定例会や行事に参加され、一緒に考え、一緒に動き、一緒に楽しく過ごせることを望んでいます。良いと思ったことは、すぐ決めて、すぐ実行すること。それが任意団体の良さだと思います。皆さんが考えたことが実践できる団体です。是非行事に参加してください。さて、2007年度のポイントは3つと考えています。それは、「会員の定例会等の行事参加。教育界への意見の取りまとめ。会員塾の経営向上のためのしくみをつくり実践すること。」です。その中で真新しいのは、「企画部」の新設です。企画部では、私が提案した、共同チラシやインフォメーションセンター、さらに会員塾の経営に対して具体的な手助けができればと考えています。企画部は、今年度私塾ネット関東副代表となつていただいた菅谷友豊香先生を部長とし、代表、副代表、総務部、会計部、さらにセンター理事長、事務局長で組織します。私塾ネット関東は職員をねぎらい、家族に感謝し、仲間を大切にしたい団体を目指します。今年度もよろしくお願い致します。

私塾ネット関東 平成19年度活動方針
平成19年4月22日

1. 私塾ネット関東の位置

会員の大多数が中小塾：塾生数の伸び悩みや減少
会員数の増加：会員数約100塾という大世帯になってきている（会員＋名誉会員）
関東地区の団体：行政や他学習塾団体との直接的な関わりがある
任意の団体：認可の学習塾団体が多く存在する中、任意団体として活動している
会員の他団体での活動：多くの会員が他学習塾団体で役員として活動している

2. 目的（平成19年度及び将来的）“教育界の活性化”

我々私塾ネット会員塾は、子供達のため、地域のため、良い教育を提案し実践していかなければならない。21世紀は2極分化の世紀となっている。我々学習塾業界も例外ではない。一部の学習塾に塾生が集まり、一方では学習塾が消えていく。「なく

3. 方針「わいわい、がやがや」

我々私塾ネット会員塾は、子供達のため、地域のため、良い教育を提案し実践していかなければならない。21世紀は2極分化の世紀となっている。我々学習塾業界も例外ではない。一部の学習塾に塾生が集まり、一方では学習塾が消えていく。「なく

なっている学習塾はない」という考えに基づき、全ての会員塾が存続、発展することを目指す。

そのために、会員塾が相互に関わり合うこと、他団体の学習塾及び学校との連携を持ち、政界へ働きかけ、共に伸びるよう活動をする。

全ての会員が会の活動に参加する

入会規定、退会規定、会員義務

教育再生会議等、行政への働きかけ

私塾ネット関東内の意志統一（対行政、対教育界）

会員塾が共に伸びる団体を目指す、他の会員への「よけいな世話」をする

インフォメーションセンター、共同チラシ、塾診断、研修、懇親

他団体、私学、公立校との協力関係を強化する

賛助会員の拡大、他団体支援、学校との意見交換と情報交換

4. 活動

(1)教育、学習塾経営に関する情報と意見交換による意思統一...総務部

定例会及び全ての活動を通して、私塾ネット関東としての考えを明確にしていく。

副総務部長を増やし会員との連絡を密にする。定例会への参加者50名目標

(2)他団体との協力関係の構築と行政への関わり...渉外部

渉外部を中心に他団体との協力体勢を強化する。合同イベントや共催も検討する。他団体行事に参加協力することで、私塾ネット関東としての考えや立場を明確にしていく。

私塾ネット関東の意見を行政や他団体に発信する。

(3)会員（賛助会員）の確保と管理...総務部・情報部・会計部

全会員塾との連絡を取り合うことで、活動の活性化（質の向上と参加者数の増加）を図るとともに、会費未納塾をなくし実質的な会員の確定をする。

塾舎見学を兼ね、定例会を会員塾で行うよう努める。会員塾間のつながりを深めると共に会員塾の経営に役立つ情報を提供する。

入退会規定に基づき、会員塾の管理を行う。

(4)教科指導、学習塾経営に関する研修...研修部・教務部・支部

教務部：体系立てた教務研修を定期的に行うように努める。

研修部：体系立てた研修を定期的に行うように努める。

支部：各地域の特性に応じた研修を行う。

(5)センター広報部と連携、私塾ネット関東の活動の公表...広報部・総務部・各部

センター広報への「エリア通信」等の原稿の

依頼と作成

定例会及び各行事の報告書は、各行事担当部が責任をもって作成し総務部に提出する。

総務部はメール、FAXで定期的に会員に配信する。必要に応じて資料等は会員へ郵送するものとする。又、活動報告はホームページ、広報、センター事務局通信でも公表できる。

(6)会員（賛助会員、他のエリア会員）との懇親、協力・家族、職員の尊重...総務部・各部

役職や塾の大小を抜きに互いを尊重信頼し意見を交換できる組織を目指す。会員塾が積極的に行事に参加する組織を目指す。

センターの全国研修大会に協力参加する。

家族や自塾の職員に感謝尊重し、職員の研修会、懇親会への参加の推進とニューイヤーパーティに家族を招待する。

(7)私学との協力関係の構築...情報部

私学情報交換会、他の行事を通して私学との教育的結束を強化し、教育界の活性化を図るとともに、塾生の指導に役立てる。

(8)会員塾の塾長(会員)は、「私塾ネット関東理事」という役職名を使用できるものとする。

(9) 会員塾の経営に対する企画提案...企画部

会員塾の経営改善を目的とした、学習塾再生会議の運営と決定事項の実行

会員塾塾長を手助けできる職員、経営者の育成、室長の育成

私塾ネット関東の信頼と安心のため、インフォメーションセンターの設置運営

私塾ネットブランドを確立するため、共同チラシ企画運営

私塾ネット関東会員の入会・除名についての覚書

1. 入会について

入会希望があった場合、すみやかに会員へメールおよびFAXで告知する。

会員から意見を受ける期間を1週間設け、費用を請求、支払いを持って入会とする。

2. 除名について

以下の項目にあてはまる場合は、定例会及び総会において検討し除名を決定する。

その場合、すでに支払われている会費等の返金は行われない。

会費未納

原則として2年間未納の場合。(まず会話をもちて対応する。)

会に対する不利益な行為

違法行為、社会的信用を失うと思われる行為

私利私欲の為の会や肩書の利用

会費横領

会員に対する不利益な行為

会員情報の漏洩等の守秘義務違反

近隣への無断出店、塾生勧誘、誹謗中傷等の直接的な利益侵害

私塾ネット関東 平成19年度主な行事予定

5月9日 役員会

6月3日 定例会・訪問研修(ステップ)

7月1日、2日 宿泊研修

9月9日 定例会・IT研修(協力:P推協)

10月28日 定例会・私学情報交換会

11月8日 定例会・定例研修

12月12日 定例会・定例研修

1月27日 ニューイヤーパーティ

2月7日 定例会・定例研修

3月11日 定例会

その他の行事:教務部勉強会(毎月)、企画部イベント

北海道エリア代表 入江昌徳



北海道は2009年高校入試より(現中2が高校入試の年)、学区の再編がある。特に、札幌市を含む石狩学区が、現行の7学区から一つの大学区に統合されることが、波紋を呼んでいる。

札幌は、俗に東西南北と呼ばれる4つの道立高校を頂点とするそれぞれの学区がピラミッド構造で形成されており、それぞれの学区の間ではあまり行き来は出来なかった。それが1学区でどこでも自由に行き来できるようになることが、前述の波紋の元である。

4校の中でも特に札幌南と札幌北が西東の両校より頭半分抜けて、トップグループを作っている。両校とも例年、東大京大で10~20名、北海道大150名前後の実績を誇るが、医学部合格率、早慶合格数なども数えると、札幌南が北海道のトップ校と見て間違いはない。

そこで、一学区になったときに、トップ層の生徒たちの動向がどうなるのか、私立で公立トップ高に方を並べる学校は出現するのか? 道内各地から札幌に集まってくる秀才たちはどのような受験傾向を取っていくのか。またそのことは、将来的に私立中入試に影響するものなのか、興味は尽きない。

ここではその近未来状況を予測するのではなく(北海道の先生方で、この予測などの意見交換を希望される場合は、入江までご連絡下さい。)、間もなく北海道の高校受験の様子が大きく塗り変わるであろうことのご報告にとどめておきたい。なお、言葉として付け加えさせていただくと、ここしばらく見られなかった、大きな改革であることも申し添えたい。

ここ1,2年、私たちは予測と情報の分析に追いつまられることになるはずである。

中国エリア代表 北川 健治

風薫る5月を目前に、全国各県各地域のエリアの皆様、フレッシュに新学期を迎えられたこととお喜び申し上げます。さて、私ども私塾ネットワークも老・壮・青、相集って、定例会の開催を通じて学習塾の経営・運営の研修に汗を出しているところです。私塾ネットワークのモットーは全国私塾連盟広島支部時代から法灯連綿、一貫して、学習塾経営のための「情報交換と癒し」に徹し続ける研修団体であり続けることにあります。2ヶ月に一度の定例会は毎回テーマを決めているわけではありませんが、必ずといっていいほど、結果において、研修会となります。各塾の近況報告に時間の大半を割くのですが、その報告された事柄について事前の打ち合わせもなく、質問や意見が飛び交います。また、長老の含蓄のある金言がピシと発射されます。討論会になることもあります。一人ひとりが「これはうまくいった」、「これはうまくいかなかった」と腹を割って話をする中で、発言した人の活路が見出されてくるのです。

(注；このことを、広島の学習塾用語で「塾を斬る」といいます)また、情報交換の部では、各地域はいうに及ばず、全国の私学教育、公教育の情報、受験情報、時には諸外国の情報、競合地域の塾の情報、全国レベルでの大手塾・予備校の情報、学習塾最前線で使用されている先端機器、教務ツール、イベント情報、各種任意団体、社団法人全国学習塾協会の情報も満載です。多士済々の一人ひとりが持ち寄るものですから膨大な情報になります。まさしく、グローバルに考え、ローカルに行動する戦う研修会です。自分の現在の塾のありようを的確につかみながら、現在の自分がなすべき優先順位をつけることは本当に難しいのですが、「次回の定例会までに成長しよう」と素直に思えるから不思議です。なお、おめでたいことをご報告しておきます。本年は友好団体、年齢だけは私の弟分(見た目ではありませんぞ!)である河浜一也先生率いる広島私塾連盟が創立20周年を迎えられます。メンバーも重複すること多く、ひとつの節目となる年であります。今から楽しみです。最後になりましたが、微力ではありますが、皆様のお力をお借りして、今後とも「皆様が出席してよかった」と言っていただけのエリア運営をしたいと思っておりますのでよろしく、お願いいたします。

東北エリア代表 畑山 篤

今年に入ってから宮城県、福島県の初対面の方々とお会いできる機会が続きました。1月21日は仙台市で宮城県の5塾の先生方と「大手塾進出に対する情報交換」を行い、2

月9日には福島県郡山市で地元の任意団体の方々と「教材教員展」で名刺交換をさせて頂きました。私塾ネットワークの会員でもなく(社)全国学習塾協会の会員でもない塾長先生たちとお話ができこれからの東北でのネットワーク作りのスタートになったと思います。

今年度の活動は5月から毎月月例会議を開くようにし、経営情報の交換を頻繁にします。イベントとしては6月の塾長・教務スタッフ対象の「入試懇談会」、7月の中学生の親子対象の「夏の最新高校入試解説会」を主催したいと考えています。また、今年(社)全国学習塾協会の塾の日の祭典が地元宮城県は松島を会場に行われますので、これをしっかりサポートしたいと思います。

そして、恒例となりました12月の第1日曜日に八戸市で行われる(社)全国学習塾協会北東支部主催「2007県立・私立高校進学情報展」を昨年同様、私塾ネットワークが後援につき執り行う計画です。

全国の皆様、今年はぜひ東北へ足をお運び下さい。新鮮な海の幸と地元の銘酒を取り揃えて、お待ち申し上げます。

四国エリア代表 湯口 兼司

2007年度活動報告、及び事業計画3月11日湯口塾研修センターにおいて四国の役員会をしました。(参加者9名)

2006年度決算報告が山田明子先生よりされて、監査役楠山敬志先生の承認と参加者全員より賛同を頂きました。引き続き2007年度の予算案についても同様に承認されました。湯口先生より提案のあった『四国の総会を東京で!』についても全会一致で承認され実施することになりました。もう一件、秋に(11月予定)仮称『四国塾長会議』を高知で行うことが決まりました。現在私塾ネットワーク四国の会員は徳島県4塾、香川県9塾、愛媛県4塾の計17塾によって構成されていますが、高知県の塾はまだ未加入です。そこで高知の塾の先生方に声をかけ、話し合いの場を持つことによって私塾ネットワークの活動を理解してもらい、最終的に何塾か会員になってもらえればと考えています。私塾ネットワーク四国で何とか20塾以上の会員の獲得を目指しています。九月ぐらいには最終の計画が出来る予定です。その際は是非またセンターの先生方や中国エリアの応援をよろしくお願いいたします。

2007年4月22日品川プリンスホテルで開催された『全国塾長、職員研修大会』には四国より10名が参加いたしました。愛媛から(十亀塾)十亀幸雄幸雄、徳島から(楠山ゼミナール)楠山敬志、(文化の森スクール)近藤誠介、香川から(学の森育心館)川口順次、(学習塾アカデミー)福富耕

二、(山田塾)山田明子、(エイブル)田村純子、(小野塾)小野昭、(学習院セミナー)寺嶋謙次、(湯口塾)湯口兼司です。また近藤先生は研修会ブログ『元気塾ノウハウ公開』で代ゼミサテライン予備校の運営方法について発表いたしました。懇親会の後皆さんが二次会へ行かれている間に、私たちはホテル内カラオケ『山手線』にて四国総会を平行して実施いたしました。10分ほどで総会は終わり、それから全員歌手に早変わりしました。年齢順にぐるりと一列に並び、一番若い小野先生はパシリ状態、ありがとうございました。川口先生を筆頭に全員芸達者2時間の予定を30分延長しても足りなく、帰りの廊下で歌えなかった歌を歌いながら部屋を後にしました。本当に楽しい一日でした。皆さんお世話になりました。

中部エリア代表 松本 紀行



五月晴れの今日この頃、皆様におかれましては、日夜ご奮闘されていることと申します。先日の全国塾長・職員研修大会に参加させていただき、元気を頂き帰ってまいりました。パロス個別指導をおやりになっている方から実際のお話を聞くことができ、参考になりました。子供のタイプ別の分け方については、役立つ視点を頂戴できたかと考えております。これから私共もいくつかの改革をしていかなければならないと気持ちを新たにしております。

5月27日(日)に私塾ネット中部エリアの研修会と湯けむりの会を実施致します。研修と懇親を兼ねて温泉地で行う予定です。場所は近日中にご報告できると思います。テーマは生徒募集方法・夏期講習・月謝戦略、そしてネット会員募集等となります。

また、5月16日(水)は長野県統一テスト定例会を実施致します。中学3年生対象の模擬試験を年2回実施しております。主としては私塾ネットのメンバーで構成されておりまして、今回は、1年間の計画を討議致します。6月、10月と作問審議会を実施する予定ですが、20年来続いてきました通称「地獄の作問会議」になると申します。

去年発表させていただきました霧ヶ峰林間学校も本年をもって3年目を向えています。5月の連休中に第1回目中学3年生の勉強合宿を終了致しました。いよいよ本格的な合宿シーズンがやってまいります。山がお好きな方はどうぞいらしてください。

編集室より私塾ネット会員の皆様へ

私がこの様な形で広報を編集して早3年も経ちました。少々マンネリ化が目立ちます。ここで皆様をお願いですが掲載してもらいたい情報やご意見等を下記アドレスまでメールで頂ければ幸いです。

宛先：広報担当顧問 平林 治

Mail Address : fu4o-hrby@asahi-net.or.jp

各 部 報 告

会計部

部長 石川 維雪

19年度センター会費ご協力をお願い

本年も会費の徴収を行っております。ご協力のほど、よろしく願い申し上げます。

なお、センター会費は12,000円(年額)でございます。

エリア東北(青森県)、エリア関東、エリア中国、エリア四国

各エリアごとに、センターの会費を集めさせていただきます。

なお、同時にエリアの会費を集める場合もございます。

詳細は、エリア代表ないしはエリア会計担当者にお問い合わせください。

*エリア代表者

エリア東北 畑山篤(志学塾)

エリア関東 鈴木正之(いぶき学院)

エリア中国 北川健治(栄光プレップ)

エリア四国 湯口兼司(湯口塾)

エリア北海道、エリア東北(青森以外)、エリア中部、エリア近畿、エリア九州

センター会計部より直接会費を集めさせていただきます。

5月に17年会費についてのご案内を個別にお届けしておりますので、ご確認ください。

なお、まだご送金いただいていない方は、以下のいずれかの口座へ12,000円ほどご送金くださいますよう、お願い申し上げます。

詳細やご不明な点は、センター会計部 石川維雪(03-3483-8221:さくら記帳代行センター内)までお問い合わせください。

【郵便振替でご送金の場合】以下の郵便口座までご送金ください。

(口座番号)0230-6-0068820

(口座名義)全日本私塾教育ネットワーク

【銀行振込でご送金の場合】以下の銀行口座までご送金ください。

みずほ銀行 祖師谷(そしがや)支店 普通預金 8079372

(口座名義)私塾ネット 会計部長 石川如雪

<ご注意> 一昨年まで一部の会員の方にご利用いただいていた「自動振替」による会費の徴収は、昨年からは行っておりません。

渉外部

部長 佐藤勇治

1 全日本学習塾連絡会議

(1) 第6回世話人会

3月8日(木) 10:30~正午
 全国学習塾協同組合(AJC)事務所
 世話人6名
 平成19年度世話人代表(菅原明之氏)ほか

(2) 第81回 全日本学習塾連絡会議

3月15日(木) 10:00~11:50
 東京芸術劇場(池袋)5F小会議室1
 15団体 28名 衆議院議員
 ・末松義規氏(民主党)、
 参議院議員立候補者 大島九州男氏
 (全国区・民主党)、ほか
 平成19年度「教育ネット要覧」用
 各団体名簿、行事予定提出について

2 埼玉県私塾協同組合

新年度教材教具展・研修セミナー・懇親会
 3月11日(日) 13:00~20:00
 大宮ソニックシティ
 懇親会(佐藤出席)

3 NPO法人 全国教育ボランティアの会

(1) 青少年の学ぶ意欲・働く意欲を育む地域連携フォーラム

第3回 推進委員会 実行委員会
 3月4日(日) 11:00~14:00
 調布市市民プラザ
 あくろす 2F 会議室1
 平成19年度 地域で行う「子育て事業」支援フォーラム推進事業に
 4,183,000円
 の助成金内定報告(東京、北海道、
 岡山、九州など予定)
 8名出席

(2) えんがわフェスタ2007に出演

3月18日(日) 10:00~15:00
 調布市市民プラザ
 あくろす 2Fホールほか
 絵合わせ魔方陣、天才カメ君、ハノイの塔、スーパーライト・グライダー
 約250名参加

(3) 平成18年度の活動「青少年の学ぶ意欲・働く意欲を育む地域連携フォーラム推進事業」ハンドブックを発行 A4版、146頁、1,000冊作成・配布

4 学習塾団体情報短信・その他

(1) 4月22日(日) 全日本私塾教育ネットワーク「全国塾長・職員研修大会」

(2) 社団法人 全国学習塾協会「学校の授業及び放課後生活に関するアンケート」実施中
 5月21日締切り

(3) 4月14日(日) 株式会社立朝日塾高等学校開校式、同中学校・高等学校(岡山県御津紙工)入学式挙行
 高校1年(1期生 38名)(佐藤出席)

(4) 4月25日(水)・26日(木) 日本教育者セミナー岩手大会(雫石町ホテル森の風鶯宿)
 筒井勝美先生 日本教育大賞受賞
 (佐藤出席)

(5) 千葉学習塾協同組合 設立20周年 記念植樹祭 5月19日(日) 10:00~15:00

学校での指導を経験して

教務部

部長 加藤 実

私は昨年江東区立小学校での算数指導を行いました。一番下のクラスの子どもの指導をお願いしたいというのでお引き受けしました。指導上の一番の問題点はやはり基礎学力の欠如です。掛け算九九すら出来ない児童相手に、たったの5コマで計算全般を理解させることはほとんど不可能なわけで、コマ割を含めて再検討が必要かと思いました。学校の先生方は皆さんかなり勉強されていますが、雑用が多過ぎますね。まず教師は教科指導に特化すべきです。次にチャイムが鳴ってから職員室を出るのではなく、チャイムが鳴り終わると同時に学習体制に入るシステム作りが必要であると思いました。一コマ45分の授業時間の中で、教室移動も含め時間ロスがかなり大きいです。やる気のない児童に対する処罰も考えていかななくてははいけません。「やってもやらなくても一切お咎めなし」では教育的効果を上げることは出来ないと思います。

この4月16日から私立中での中1一クラスと中2三クラスの指導が始まりました。週20コマ(つまり月~金毎日国語があるわけです)ですからかなりの負担ですが、中学生に対する国語科指導ですから私の最も得意とするところであり、生徒も首都圏模試偏差値で60前後の入試を突破してきたレベルの生徒相手ですので、思う存分の授業を展開しております。「豆口語文法」(毎時間)・「豆文学史」と「百人一首」(週一)「古文の学習」と「読解作業」(毎時間)を並行して授業展開しております。休み明けに初の読解ワークシート作業と豆テスト(口語文法・文学史・漢字)実施予定(4/28日に原稿作成完了)。チャイム終了と同時に挨拶をして授業開始。「よろしくお願いします」「着席」「ありがとうございました」の挨拶が素晴らしい!いまだに春休み課題の小論文・読書要約文・ニュースノートの添削に追われています。多少私語する生徒もおりますが皆静かに授業を聞いてくれています。

私塾ネットセンター 事務局通信

事務局長 仲野十和田

3月14日(水)、鈴木正之先生(エリア関東代表)、佐藤勇治先生(渉外部長)、渡辺浩先生(エリア関東総務部長)と私で、神奈川県屈指の進学塾「Step」本部教室(藤沢市湘南台)へ訪問研修の打ち合わせのため訪れた。ご存知の方も多いと思うが、代表の龍井先生はあまり外に出られない方なので、このような研修を受け入れて下さるのも全塾連時代から会員である私塾ネットだけだ。

池永郁夫先生のお話を少し伺った後、教室を案内していただく。先ず驚いたのが、誰もいない教室で先生が一人で授業を行っていたことだ。Stepでは「シャドー」と呼び、空き教室を利用して日常行わ

れているとのこと。驚いている私たちに池永先生は驚かれているようだった。その後、龍井郷二代表もお話しに加わってくださったが、お二人とも未だに授業を持たれているということで、教育に対する熱意がひしひしと伝わってきた。余談だが、4/22の私塾ネット研修会でStepに勤めていたという若い女性(企業の方)に会った。その方曰く「Stepの1, 2年生教師は、週2回午前中に教務研修があり厳しいが、龍井先生も池永先生も現役で授業をされるので、刺激を受ける(あの温かな龍井先生もこのときはとても厳しいそうです)」と。

6月3日(日)、私塾ネットとしては2回目のStep訪問研修、乞うご期待を!

閑話休題

理事長 谷村 志厚

全国塾長・職員研修大会の盛会に感謝

4月22日の全国研修大会は第二部の懇親会を含め、延べ150名を越えるか方々にご出席をいただいた。その内訳は会員塾関係87名、賛助会員私学28名、他団体会員ほか39名である。研修会の今年の目玉は小林恵智先生の講演会だったが、その博識と見識、さらに巧みな講演術に、出席者の誰もが息を呑む内容で、時間の経つのを忘れるほどであった。いやはや世の中には大人物がいるものだなと感心した次第だ。昨年の「アビトレ木下セミナー」といい今回といい、密度の濃い研修会が続いている。さて来年度は? 年々ハードルが高くなっていくようで、研修企画者にとっては頭の痛いところではないだろうか。

いまなぜ高校野球特待制問題

高校野球の特待生問題で議論噴出である。総じてマスコミの論調は学生擁護と高野連批判のスタンスである。5月3日現在に届出のあった「違反」校は373校、該当する生徒は7457人に達するとのことだ。その数を多いと見るか少ないと感じるか。少なくとも高校への進路相談の現場にいる我々にとっては、他人事では済まされない数であろう。当塾のOBに現在S球団で若きエースと評価されるW選手がいる。彼は小6から中3の12月、つまり高校推薦進学が内定するときまで在籍していた。彼の進路希望は中2の段階からプロ野球であった。これは単なる少年の夢の枠を超えて家族皆の目標であった。中学の3年間はシニアチームクラブで実績をあげ、3年の時には日本代表団の投手として海外遠征にも出た。ちょうど塾の夏期講習の期間であったのだが、お盆休み以後の後期から講習に出席していたことを思い出す。そんな彼が高校への進路としてプロに直結する学校を選択するのは必然である。それが神奈川県Y校であったが、ここにも学校独自の「特待制度」があり、彼はそれに相当する力量と認められ進学をしたのであつ

た。高野連が「特待制度」を知らなかったはずもないわけで、見て知らぬふりをしていた、あるいは、あえて知ろうとしなかったのであろう。西武球団の裏金問題から波及した今回の問題だが、「藪をつついたら、八岐の大蛇が出てきた」ということだろうか。高野連の脇村会長は記者会見で「生徒にも責任がある」とおっしゃったが、その前に「我々に責任がある」と詫びるのが筋であろう。

地域教育格差と塾力

格差社会なかで教育格差が指摘されるいま、地域教育格差が深刻な問題になっている。首都圏で塾を経営していると、「中央と地方の格差」に疎くなる。村営・町営塾というものが地方の過疎地域で生まれているらしい。福島県の阿武隈山地の川内村では、小5から中3生徒を対象に村営塾「かわうち興学塾」をスタートさせたそうだ。講師は県内の学習塾から派遣をするそうで、習熟度別の指導で小学生28人、中学生60名が通っている。村内には小中あわせて約200名の生徒がいるそうだから、通塾率44%ということになる。世間のいわゆる通塾率と遜色ないのだからたいしたものである。子どもたちの成果が村の評価になることを期待したいものである。これとはいささか背景が違うが、東京都内では塾から公立小中学校への講師派遣が珍しいことではなくなっている。ことに熱心なのは江東区の教育委員会のようで、先日も全国学習塾協会を通じて講師応募の通達があった。学校外の教育は我々民間教育機関にまかせておけば良いのではと思うのだが、前述の村営塾の存在も含めて、学力は公立の学校現場だけではままたぬということの証左であろうか。今号で加藤先生が、江東区の公立小学校での指導経験と私立中学での指導の現状をレポートをされている。まずはご一読いただき、首都圏で進みつつある塾と学校の一面をご理解ご判断いただきたい。

賛助会員一覧(順不同)

関東国際高等学校 03-3376-2244
 〒151-0071 東京都渋谷区本町3-2-2
 村山 ヲドヲ先生
江戸川学園取手中学高等学校 0297-74-8771
 〒302-0025 茨城県取手市西1-37-1
 竹澤 賢司先生
十文字中学高等学校 03-3918-0511
 〒170-0004 東京都豊島区北大塚1-10-33
 卯木 幸男先生
東洋高等学校 03-3291-3824
 〒101-0061 東京都千代田区三崎町1-4-16
 野間 一夫先生
桜丘中学高等学校 03-3910-6161
 〒114-8554 東京都北区滝野川1-51-12
 品田 健先生
聖徳大学附属中高等学校 047-392-8111
 〒270-2223 千葉県松戸市秋山600
 川並 芳純先生
麹町学園女子中高等学校 03-3263-3014
 〒102-0083 東京都千代田区麹町3-8
 伊藤 暁先生
春日部共栄中学 048-737-7611
 〒334-0037 埼玉県春日部市上大増新田213
 宇野 禎弘先生
大成高等学校 0422-43-3196
 〒181-0012 東京都三鷹市上連雀6-7-5
 森 保先生
東京学園高等学校 03-3711-6641
 〒153-0064 東京都目黒区下目黒6-12-25
 須藤 勉先生
東京立正中学高等学校 03-3312-1111
 〒166-0013 東京都杉並区堀ノ内2-41-15
 藤井 教戒先生
八雲学園中学高等学校 03-3717-1196
 〒152-0023 東京都目黒区八雲 2-14-1
 横山 孝治先生
関東第一高等学校 03-3653-1541
 〒132-0031 東京都江戸川区松島2-10-11
 副田 康孝先生
武蔵野中学高等学校 03-3910-0151
 〒114-0024 東京都北区西ヶ原4-56-20
 丹野 秀彦先生
神田女学園中高等学校 03-3291-2447
 〒101-0064 東京都千代田区猿楽町2-3-6
 斉藤 元治先生
和洋国府台女子中学高等学校 047-371-1120
 〒272-0834 千葉県市川市国分4-20-1
 太田 陽太郎先生
東京文化中学高等学校 03-3381-0196
 〒164-8638 東京都中野区本町6-38-1

英数学館中学高等学校 084-941-4115
 〒721-8502 広島県福山市引野町980-1
 和田 淳先生
文京学院大学女子中学高等学校 03-3946-5301
 〒113-8667 東京都文京区本駒込6-18-3
 水上 茂先生
京北学園中学高等学校 03-3941-6253
 〒112-8607 東京都文京区白山5-28-25
 実方 隆志先生
大森学園高等学校 03-3762-7336
 〒143-0015 東京都大田区大森3-2-12
 河嶋 正先生
東京成徳大学中学高等学校 03-3911-2786
 〒114-8526 東京都北区豊島8-26-9
 増澤 文徳先生
日本工業大学附属中学 03-3467-2130
日本工業大学附属東京工業高等学校
 〒153-8508 東京都目黒区駒場1-35-32
 河村 文夫先生
青稜中学高等学校 03-3782-1502
 〒142-8550 東京都品川区二葉1-6-6
 多々良 昭典先生
東京女子学園中学高等学校 03-3451-6523
 〒108-0014 東京都港区芝4-1-30
 実吉 幹夫先生
安田学園中学高等学校 03-3624-2666
 〒130-8615 東京都墨田区横綱2-2-25
 福谷 隆芳先生
多摩大学目黒中学高等学校 03-3714-2661
 〒153-0064 東京都目黒区下目黒4-10-24
 福本 明男先生
駒込中学高等学校 03-3828-4141
 〒113-0022 東京都文京区千駄木5-6-25
 河合 孝允先生
愛国中学高等学校 03-3658-4111
 〒133-8585 東京都江戸川区西小岩5-7-1
 高橋 英夫先生
日本橋女学館中学高等学校 03-3662-2507
 〒103-8384 東京都中央区日本橋馬喰町2-7-6
 羽田野 敦先生
株式会社パイロットコーポレーション 03-3538-3782
 〒104-8304 東京都中央区京橋2-6-21
 辻 豊様
株式会社教育企画ティーファイブ 03-5479-7061
 〒140-0001 品川区北品川1-22-17 ニックハイム104号
 山田 孝幸様
株式会社創開コミュニティ 04-7164-6511
 〒277-0005 千葉県柏市柏3-4-25 小溝ビル
 小林 和光様
(株)アズサコーポレーション 03-3477-2011
 〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町29-31
 石野 ゆかり様